

葛西「銀」



【男子ラージヒル決勝】葛西紀明の1回目=ソチ(共同)

41歳7度目で悲願達成

ジャンプ男子ラージヒル

【ソチ共同】ソチ冬季五輪第9日の15日、ノルディックスキートのジャンプ男子ラージヒル(HS140m、K点125m)で41歳の葛西紀明(土屋ホーム)が139m、133・5mの合計277・4点で2位に入り、7度目の出場で初めて個人種目のメダルを手にした。冬季五輪の日本勢最年長メダルで、今大会の日本選手団のメダルは5個目。

ジャンプでは、団体が優勝し、ラージヒルで船木和喜(フィット)が金に輝いた1998年長野五輪以来4大会ぶりのメダル。

葛西は北海道出身で、94年リレハンメル五輪団体で2位。今季は1月にワールドカップ(W杯)で10季ぶりに勝って最年長優勝記録を更新するなど好調を維持した。

伊東大貴(雪印メグミルク)は9位、清水礼留飛(雪印メグミルク)は10位、竹内択(北野建設)は13位だった。

日本勢 冬季最年長

